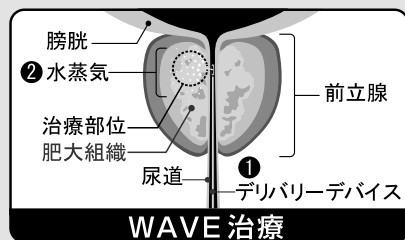


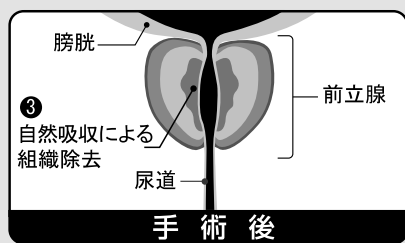
# 泌尿器科の かかりつけ 医

神楽岡泌尿器科 渋谷 秋彦 院長

## 経尿道的水蒸気治療(WAVE)



WAVE 治療



手術後

渋谷 秋彦 ● しがや あきひこ 1961年、旭川生まれ。1988年札幌医科大学卒業。2003年11月に旭川市神楽岡に「神楽岡泌尿器科」開院。日本泌尿器科学会(専門医)、老年泌尿器科学会、日本性機能学会、日本泌尿器内視鏡口ポテリアル学会所属。著書に「気持ちいいオナニー」のすすめ(現代書林刊)。

刺激症状が見られます。組織を採取することが出来ないため、良性悪性の判定は出来ません。

## (2) 経尿道的前立腺水蒸気治療(WAVE)

肥大した前立腺組織内に水蒸気を注入すること

で、組織の熱変性・組織壊死を期待するものです。効果の発現まで1カ月程度の時間を要しますが、適当な部位に十分な熱変性が起これば確実に通過障害を取ることが出来ます。

粘膜に直接熱が当たらないため、刺激症状は強くないようです。10mm間隔での注入針の穿孔を数カ所行うだけなので、強い麻酔をかけることなく、粘膜麻酔のみで10分程度で治療を終えることが出来、抗凝固剤の服用

も支障がないとされています。麻酔のかけられないような基礎疾患があったり、心肺機能の低下のある方に有効と考えられます。こちらも前立腺の組織確認はできません。

上記の治療は当院でも可能ですが、次回は当院独自に日帰りで行っている「前立腺部尿道ステント留置術」と「経尿道的レーザー前立腺核出術(HOLEP)」についてお話しします。

前回お話ししましたが、前立腺肥大症は薬物治療での効果が不十分であったり、肥大した前立腺が尿道の流れの妨げとなっている場合は、その通過障害を解除するための追加治療が必要となります。

従来行われていたTURP(経尿道的前立腺切

除術)は、高い効果を期待できるものの、入院が必要であったり出血を含めた多くの合併症やリスクがあるため、現在ほとんど行われていないのが現状です。現在は各種の低侵襲の治療法が出てきています。

## (1) 経尿道的レーザー前立腺蒸散術(PVP、CVP)

各種レーザー光を前立腺に直接照射し、前立腺組織を蒸散(気化)させ

て除去)するものです。出血を最小限にすることができ、抗凝固剤を服用していても可能とされています。以前は前立腺組織を焼いて時間をかけて壊死させるものでしたが、最近の手法は直接前立腺組織を蒸散するために十分な空間を確保して、通過障害を取ることが出来ます。肥大結節をすべて取ることができないので再発の可能性があること、熱変性による

◇ 当院では、ホームページでのメール相談や電話相談もお受けしていますので、ぜひご利用ください。

00166-60085

http://www.kagu-uro.or.jp

## 前立腺肥大症の新しい手術治療について